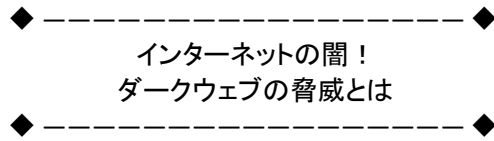


◆ダークウェブに関わらないために...◆

さて、あなたは「ダークウェブ」という言葉を聞いたことはありますか？



インターネットの闇！
ダークウェブの脅威とは

ウェブ上には、多くのサイトがあります。サイトは3種類に分けられ、それぞれ

1.サーフェスウェブ 2.ディープウェブ 3.ダークウェブ と呼ばれます。

サーフェスウェブとは、誰でも閲覧できるサイトで企業サイトはサーフェスウェブにあたります。
ディープウェブは、Web検索エンジンに登録されないサイトです。
そして今回注目したいのが、【ダークウェブ】

ダークウェブは誰もが匿名でアクセス可能です。

高度な匿名性をもつダークウェブはインターネット検閲が厳しい国の人たちが安全に外部の情報を入手するのに役立っています。

しかし、そのようなメリットがある一方、匿名性が高いがゆえに「個人情報の売買」など違法行為が発生する場にもなっているのが現状です。

ちなみにダークウェブは検索しても見つからず、特別なソフトを使わない限りアクセスは不可能です。
そんな特殊なサイトなら、「中小企業が被害に合うことはないのでは？」と思う人もいるかもしれません。
しかし、自分たちに非はなくともダークウェブの被害者となってしまうことはあるのです。



例えば、社員が会社のパソコンからおかしなサイトにアクセスして、ウイルスに感染したとします。
そこで抜き取られた「個人情報」「会社の機密情報」が、犯罪の温床であるダークウェブで晒され、企業や個人が被害に合う可能性があるのです。

もし情報漏洩が発覚すれば、取引先からの信頼は失われ、賠償問題にも発展しかねません。
そうなれば、私たちのような中小企業の存続は困難になります。

そのような被害に合わないよう危機管理を徹底している会社では、このような対策をしているそうです。

- 怪しいサイトにアクセスできないよう会社のパソコンに閲覧制限を設ける
- 社員がブラウザやソフトを勝手にインストールしないよう、権限を制御する

ちょっとした好奇心で大きな損害を被ってしまうのが、インターネットの恐ろしさです。
容易にアクセスできない環境をつくと同時に、あらためてネットのセキュリティ対策を確認してみたいはいかがでしょうか。

□ ■ □ -----
編集後記
----- □ ■ □

今回はダークウェブの脅威をテーマにお伝えしました。
インターネットの被害は年々拡大し、手口の悪質さも増えています。
記事を書きながら、当社もネットセキュリティを再確認してみようと思いました。

